



視界をぼやけさせ、視覚障害者の世界を体験する来場者＝岐阜市北野町の岐阜盲学校で

盲学校生たちの 学習の苦勞体験

岐阜で大学生ら

岐阜市北野町の岐阜盲学校で二十三日、オープンキャンパスがあった。地域住民や教育関係者ら約二百人が参加し、同校の生徒たちの生活を体験した。

鈴の入った球を転がす競技「ゴールボール」などのスポーツ、盲導犬との歩行や、視覚障害者用に配慮された器具を使った理科実験などが、関心を集めた。「見えにくい世界」を体験するブースも。愛知教育大三年の山下佑海さん(三〇)は、視界をぼやけさせる眼

鏡をかけ、弱視者用のノートを見た。「色のコントラストがはっきりしていないと、すごく分かりにくい」と、生徒が学習する上での苦勞を感じていた。

林亨校長は「視覚障害者教育について知ってもらいきっかけになれば」と話した。(形田怜央菜)